



竜ヶ岳の春 シロヤシオの花が彩る白いヒツジ



竜ヶ岳の秋 紅葉が彩る赤いヒツジ



竜ヶ岳 頂上は近い！なだらかな草原状の斜面、雪原のシロヤシオ



⑪ 藤原岳 北部山上のカレンフェルト



一般社団法人  
**いなべ市観光協会**

〒511-0274 三重県  
いなべ市大安町大井田 1305  
TEL: 0594-37-3514 FAX: 0594-37-7723  
URL: https://ssl.kanko-inabe.jp/  
E-mail: kanko@kanko-inabe.jp  
監修・写真: 伊藤六策  
編集: 佐藤千矢子 吉田香織



⑩ 大橋屋敷 平安時代、第五十五代文徳天皇の皇子、惟鸞（これたか）親王が都を追われ隠れ住んだ鈴鹿の山々。藤原岳山上鞍掛峠は、使用した馬の鞍を掛けたことから名付けられた。藤原岳には、見晴らしのよい山頂台地で休まれた「腰掛石」の伝承が残る。時は下り、天正年間、織田信長に対抗した一向一揆は、長島の願生寺が中心戦場となり、それを指揮した唯願寺住職、大橋明覚は、信長勢の動向を見渡せる藤原岳に館をかまえ、天狗岩から動静を本願寺に通報していた。明覚を助け、大橋屋敷と呼ばれる館を築いたのは、はるか昔、惟鸞親王の供をした馬場一族であり、籠も親王が休まれたとい伝えられた「腰掛石」の傍に造られた。戦いは終わり、屋敷跡は草木に埋もれてしまった。近年の鹿による食害で、藤原岳山上の背の高さを越したクマザサがなくなり、屋敷跡が姿を現した。調査により2022年に大橋屋敷跡として埋蔵文化財包蔵地の指定がなされた。

**伝説の天空の館発見！**

天安二年文徳天皇の第一皇子惟鸞親王は藤原良房のさびしい追討を受け馬場一族を越え当地に落ちた。親王を案内したのが、後の美濃国土岐村唯願寺の門徒となる從臣馬場大守守信方とあり藤原岳山上には、この休息したと伝わる「腰掛石」の傍に造られた。戦いは終わり、屋敷跡は草木に埋もれてしまった。調査により2022年に大橋屋敷跡として埋蔵文化財包蔵地の指定がなされた。

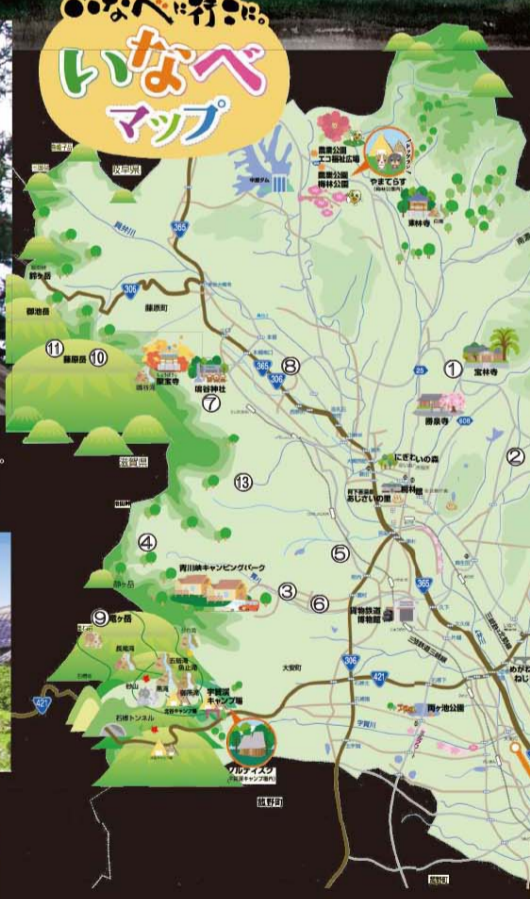
藤原親王 第一親



鳥嶺山	864
狗園山	772
三日月山	804
城山	982
鞍掛峠	
御池山	1247
荷ヶ岳	1094
頭陀ヶ平	1143
藤原岳	1140
孫大尾根	
治田峠	
桃ヶ岳	1019
静ヶ岳	1089
大鉢山	青川峡
竜ヶ岳	1099
石標峠	宇賀溪
祝池ヶ岳	



① 日本一の杉 コウヨウザン 北勢町東貝野 寶林寺 2491 広葉杉(コウヨウザン)は中国南部原産で、江戸時代後期に伝わりました。環境省の調査で日本一の巨木とされました。幹回り470cmで、枝が傘のように放射状に伸びる特徴をもちます。



⑦ こま猿が守る 猿神社(鳴谷神社) 藤原町坂本 83 伝教大師の徳を伝え、村人の信仰や家族との絆を伝える縁起の良い開運スポットとして親しまれています。昔、旅の僧がこの地を通った時、ワナにかかっていた猿を逃がしてやりました。おかげにより僧が、疫病根絶のための寺を造った時に、猿が仲間とともに来て手伝ったという故事があります。



② 樹齢千年を超える 大榎(オオガヤ) 北勢町南中津原 実は古くから食糧とされ300K以上も採れたそうです。



③ 新町谷(青川深谷) 全貌



④ 新町谷の坑道跡 伊勢の国唯一の銀・銅山 治田鉱山跡 北勢町新町 江戸時代に栄えた銀・銅山があり、銅は大阪まで運ばれていました。多勢の人が全国からやってきて新町がで、神社、寺もできました。ここで産出された銅で作られた梵鐘も甘藷寺に残っています。



⑤ 賀毛神社に残るルツボ 北勢町垣内 718



⑧ 180万年前、いなべに象がいた！ 藤原岳自然科学館 いなべ市藤原町市場493-1

1954年藤原町の粘土採取場で、ゾウのほぼ全身の骨格化石が発掘され、三重県立博物館に保管されています。藤原岳自然科学館には、下あごと、牙のレプリカが展示されています。日本各地でこの象は発掘されており、いろいろな名前前で呼ばれていましたが、1991年アケボノゾウと名付けられました。1993年には、滋賀県多賀町で発掘されたアケボノゾウは、全身骨格が復元されています。180万年前は鈴鹿山脈が隆起する前であり、ゾウ達が行き来していたことが想像できます。



いなべ市の動物、植物、化石の展示、学習会を行っています。ジオラマは興味深く、子供たちの遊び場にもなっています。

